



あの日、そして明日へ

～それぞれの3654日～

あの日に体験したこと。それは、一人ずつ違ってきます。
あの日から一歩ずつ積み重ねてきた日々も、
一人ずつ、一日ごとに、大きく違ってきます。
決して一様ではない違いを「それぞれ」という言葉に、
10年の一日一日を「3654日」という言葉に託しています。
今、追悼し、課題を見つめ、力強い復興の道程を振り返ることで、
次の一日、次の10年に生かし、未来へとつなげていきます。

《東日本大震災10年 主な企画・展開》

●NHK民放 6局防災プロジェクト 『キオク、ともに未来へ。』(3月6日～31日)

東日本大震災10年を機に実施するNHKと民放キー局5社の共同プロジェクト。
共通キャッチフレーズのもと、各局がドキュメンタリーやニュース企画などを制作、企画開発から番組制作まで、垣根を越えて協力しながら進めていく。目的は、未来のいのちを守るため、過去の経験から学び、次世代へ繋げること。参加番組は3月末までTVerでも配信する予定。
また、プロジェクトは、平時から防災・減災の取り組みに力を入れている日本赤十字社や被災地の活動団体への支援金募集などを行う中央共同募金会とも協力する。

(NHKで制作する特集番組)

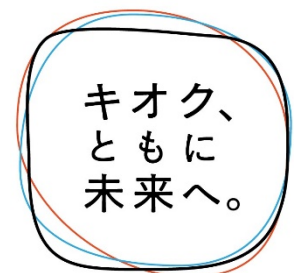
「あしたの命を守りたい ～NHK民放 取材者たちの震災10年～(仮)」
NHKと民放5社の震災取材担当者がスタジオに集まり、震災や復興過程での経験を持ち寄って、未来の命を守るため、私たちは何ができるのかを考える。

【放送予定】2021年3月14日(日) 総合 午後1時50分～3時00分

※一部地域では別日時。

<共同プロジェクト参加放送局>

NHK 日本テレビ テレビ朝日 TBS テレビ東京 フジテレビ



NHK 民放 防災プロジェクト

●ピックアップ特集番組

総合

・「ごごナマ 東日本大震災から10年」

宮城・岩手・福島の3県とスタジオを中継で結び、各地の当日の表情や復興の現状を伝えながら、西田敏行さんら東北ゆかりのゲストが自らの震災体験・故郷への思いを語る。10年目の午後2時46分を祈りの中で迎え、改めて、私たち一人ひとりが震災体験を語り合い、共有すること、そして次の世代に伝えていくことの大切さを確かめ合う。

【出演】西田敏行ほか 【放送予定】2021年3月11日(木) 午後1時40分～4時20分

・「NHKスペシャル 特別編成（既報）」

3月6日から14日まで8本を集中的に編成。

震災前の2005年から16年にわたって仙台・荒浜という半農半漁の地域を記録し続けたドキュメンタリーでは、大漁と豊作をもたらす風くイナサとともに暮らしてきた人々を見つめ、津波によって、“失われたもの”“変わらないもの”“守り継がれたもの”を描く。この「イナサ ～風寄せる大地 16年の記録～」3月8日放送など。



・「しあわせ運べるように ～被災地をつないだ心の歌～（仮）」

災害が相次ぐ中、被災地ではさまざまな“心の歌”が、人々を慰め勇気づけてきた。その一つ、神戸の復興の歌「しあわせ運べるように」は、東日本大震災や熊本地震などの被災地でも歌い継がれている。福島と神戸の子供たちの交流の記録と共に、人々の心に残る名曲に秘められたエピソードを紹介。復興を応援するアーティストのライブ演奏も交えながら、あの日の記憶や教訓を未来へとつなぐメッセージを伝える。

【出演】森山直太郎 福島しあわせ運べるように合唱団 ほか
【放送予定】2021年3月13日(土) 午後4時50分～6時00分

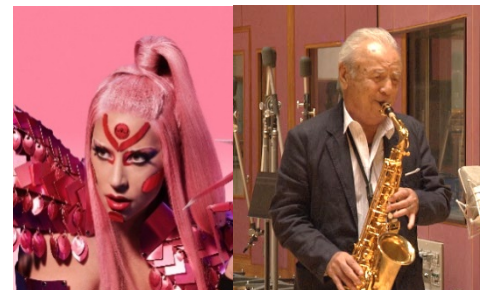
・「“ありがとう”を3.11に伝えよう委員会（仮）」

東日本大震災で被災した人たちが、家族や友人、同僚、お世話になった方々に、これまで言えなかった『ありがとう』の思いを伝え、この10年間をねぎらいあう番組。この企画は、もともと宮城県気仙沼市の住民が、「3.11を感謝の言葉であふれる日にしたい」と、「“ありがとう”を3.11に伝えよう委員会」を立ちあげたことが発端。彼らが伝える、いくつもの『ありがとう』の物語から、被災地の人たちが歩んできた10年間を見つめる。

【出演】井ノ原快彦 南野陽子 【放送予定】2021年3月13日(土) 午後7時30分～8時43分

・「音楽で心をひとつに ～Music for Tomorrow～」

震災後、悲しみにくれる人々を勇気づけた歌や音楽。世界中のアーティスト達からの支援を糧に、被災地は復興に励んできた。しかし、いま各地で自然災害が頻発し、新型コロナの感染が拡大。世界は改めて癒やしと希望を必要としている。離れていても、困難なときこそ、心をひとつにして、明日へつないでいこうというアーティスト達のパフォーマンスとメッセージをお届けする。



【出演】レディ・ガガ 平原綾香 JUJU スガシカオ 渡辺貞夫 渡辺謙ほか
【放送予定】2021年3月27日(土) 午後11時00分～翌0時00分

・「土曜スタジオパーク 東日本大震災10年 あなたのそばで明日が笑う ゲスト綾瀬はるか」

特集ドラマ「あなたのそばで明日が笑う」放送当日、主演の綾瀬はるかさんをゲストに迎えて生放送。宮城県石巻市を舞台に、行方不明の夫を待ち続ける女性が前を向き歩み出す物語。撮影中の印象的なエピソードや共演者インタビューを交え、ドラマと被災地への想いをたっぷり伺う。綾瀬さんと福島各地との長年に及ぶ交流の様子や、震災10年の様々な関連特集番組も紹介。

【出演】綾瀬はるか 近藤春菜 足立梨花 松岡忠幸アナウンサーほか
【放送予定】2021年3月6日(土) 午後1時50分～2時50分

Eテレ

・ドラマ「ハルカの光」

宮城で漁師の娘として育ったハルカは、東日本大震災で、家や多くの友人をなくした。照明オタクのハルカが照明の魅力を人々に伝え、その人たちにぴったりの照明を見繕う過程で、人々の人生に次々と「光」がもたらされていく。そしてハルカ自身もまた、数々の出会いを通して心の傷を乗り越え希望の光を見いだしていく。ユーモアとペーソスあふれるタッチで描く新感覚・文化教養×ドラマ！

【出演】黒島結菜 古舘寛治

【放送予定】2021年2月8日(月) スタート 毎週月曜午後7時25分～7時50分

※3月8日(月) 最終回

・「100分de名著 100分de災害を考える」

古今東西の名著を4回シリーズで読み解く番組。3月の放送では、寺田寅彦「天災と日本人」、柳田国男「先祖の話」、セネカ「生の短さについて」、池田晶子「14歳からの哲学」を取り上げ、「災害との向き合い方・生きる力・未来を拓く叢知」を読み解いていく。

【朗読】滝藤賢一 【出演】伊集院光 若松英輔（東京工業大学教授・批評家）ほか

【放送予定】2021年3月1日(月)～ 4回放送 毎週月曜午後10時25分～10時50分

・震災10年特集「がんこちゃんと失われたふるさと」

人形劇でおなじみの「ざわざわ森のがんこちゃん」が、3.11を知らない子どもたちとその家族に向けて放送するスペシャル番組。恐竜の女の子・がんこちゃんが、大きな災害にあい避難してきた鳥の子ども「ソラ」と出会い、様々な困難がありながらも心を通わせる姿を通して、「被災とはなにか」を伝えるとともに、「自分の身になって被災者を思いやる心」の大切さを描く。放送後は「NHK for School」で公開。

【放送予定】2021年3月11日(木) 午後6時20分～6時40分

BS1

・BS1スペシャル「映像記録 東日本大震災 発災からの3日間 / 1年の苦闘」(国際放送連動)

東日本大震災の経験を後世に伝えるため、NHKでは当時被災地で撮影された膨大な映像で構成した記録番組を制作。BS1放送に加え、国際放送を通じて世界に発信する。前編では長く続いた激しい揺れや大津波の様子、後編では発災後1年の被災地での苦闘を描く。

【放送予定】2021年3月7日(日) 午後10時00分～10時49分、11時00分～11時49分

BSP

・バスで！列車で！ 篠山輝信×震災10年の東北旅

東日本大震災から10年。震災直後から継続的に東北沿岸部の町の変化を見続けてきた番組がある。朝の情報番組「あさイチ」で毎年3月に放送されてきたコーナー企画『バスで！列車で！アッキーがゆく“復興の地”』。“アッキー”こと俳優の篠山輝信さんが旅人となり、震災で一度はズタズタになった公共交通機関を乗り継ぎ、青森・岩手・宮城・福島へと、被災した土地土地を訪ねながら、復興へと向かう町の様子や人々の思いを伝えてきた。今年はコロナ禍でアッキーが現地を訪ねることはできなかったが、この10年繰り返してきた旅を振り返れば、震災後に歩んできた人々の営み、それぞれの“復興”のありよう、未来への課題が等身大に迫ってくる。旅情あふれる東北の情景とともに、この10年の被災地と人々の歩みをアッキーとともに伝えるスペシャル版。

【放送予定】2021年3月12日(金) 午後11時15分～翌0時44分

BS8K

・8K映像が語る震災遺構「あれから10年」

被災地で、いまもっとも大きな課題のひとつが「震災の伝承」だ。

その核となるのが、「震災遺構」の保存。震災から10年に向け、残された数少ない遺構の保存が進められている。NHKの仙台、福島、盛岡の被災3局は、2018年から震災遺稿を8Kで記録してきた。新撮も含め再構成して放送するとともに、貴重なアーカイブとして保存・公開する。

【放送予定】2021年3月7日(日)午後7時00分～7時59分

ラジオ

・震災10年特集「福島発#ラジオ1F(いちえふ)便」

福島第一原発(1F)から生放送。原発と周辺被災地の復興の今を、“リアルな日常”を通して同心円状に描き出す。たとえば、原子炉建屋の中(0km)、1F構内の日々(1km)、住民帰還が始まった町内(5km)、移住者の活動が活発化する隣町(15km)、風評払拭のチャレンジが進む浜通り地方(30km)。それぞれに生きる人たちは何を考え、どう日々の生活を営み、何に悩んでいるのか。ドキュメント・中継・インタビュー・リスナーへの生アンケートなどさまざまなスタイルで、ポスト10年に向けた前進のヒントをあぶり出す。

【放送予定】2021年3月13日(土) R1 午後5時05分～5時55分、午後6時05分～6時50分

●NHKプラス 震災10年プレイリスト(2月下旬～3月下旬)

NHKプラスでは、#震災10年というプレイリストを編成。ニュース、ドキュメンタリー、ドラマほかさまざまなジャンルの関連番組を放送から1週間同時・見逃し配信する。また、これまで10年の間に放送してきたNHKスペシャルなどの番組を「津波」「こども」「原発」「福島」などのテーマごとにプレイリスト化し、ひとりひとりの「もっと見たい」に応える。

「#震災10年」プレイリスト URL <https://plus.nhk.jp/watch/pl/1e8b50af-ad3a-429c-8d54-87d89241d936>

※公開は2月下旬予定

●「震災と未来」展—東日本大震災10年(既報)(お台場 日本科学未来館 3月6日～28日)

NHKがこれまで取材・記録・蓄積してきた映像や資料を中心に、震災を風化させることなく、未来に教訓を伝えることをテーマに構成、関連の特集番組とも連動する特別企画。

開催にあたっては、事前予約や整理券による入場など、必要なコロナ対策を適切に実施。

またコンテンツを放送やWEBでも紹介する予定。

渋谷サテライトとしてNHKプラスクロス SHIBUYA でも開催(2月21日～3月13日)

(詳細別紙参照)

※情報は変更になる場合があります。

